

前田れいこ通信

2024 冬号

岡崎市議会市政レポート

岡崎市議会議員

介護現場20年

子育てケアマネジャーの 岡崎改革

ご挨拶

1期目最終年の始まり、令和5年12月定例会

令和6年の辰年、あけましておめでとうございます

1期目最後の1年が始まりました。議会の中の役割も一新し、所属委員会が変わりました。常任委員会は「文教経済委員会」、特別委員会は「こどもまんなか社会推進特別委員会」に配属されました。こどもまんなか推進社会特別委員会では、副委員長を拝命しましたので、岡崎市のこどもの権利などについてしっかりと議論し、より良い提言ができるように頑張ります。

令和5年12月定例会の一般質問は、「仕事と育児・介護の両立支援」という内容で行いました。私自身の政策テーマが「幸せな介護ができるまちづくり」と、「女性が働きやすい環境整備」です。国でも「育児介護休業法」が整備されており、この法律では、育児及び家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるよう支援することで、国の経済及び社会の発展に資することが必要である、と定義されています。社会を健全に循環させるためには、労働者の心と体が健康でなければなりません。そのような観点からの一般質問をさせてもらいましたので、今回の通信の中でご紹介していきたいと思っております。寒い日が続きますが、みなさまご自愛いただきまして、素晴らしい令和6年の始まりとなりますようお祈りいたします。

前田麗子

前田れいこ後援会の募集

こんな取り組みをしていきます。是非応援してください！

- ・この街をさらに住みよくするために
- ・誰もが通る介護問題解決のために本当の介護現場を知る議員を応援したい
- ・子ども、女性、高齢者に寄り添った施策を実現させたい
- ・地元経済活性化について一緒に考えたい
- ・防災に強い矢作地区を共に考えたい
- ・女性議員を増やしていきたい(岡崎市議会は37人中、女性議員はたったの5人！)
- ・とにかく前田れいこを応援したい

ご入会者の
特典

「前田れいこ通信」を岡崎市議会の定例会後市政レポートとして定期にお届けいたします。

前田れいこ後援会
申し込みフォームはこちら



前田れいこホームページはこちら
<https://maeda-reiko.waganse-company.com>



好評発売中！
「介護職よ、地方議員を目指せ！
介護現場を変えたいあなたに伝えたいこと」
愛知県内の介護事業所様には
直接、前田麗子が書籍をお届け！！
前田れいこ共著！！

ケアマネの実践書『ケアマネ業務』の悩みを解決する秘訣が満載！！
明日、急に介護の世界は変わらない
2025年までに、介護を変える力もない
でも諦めたら厳しい状況は変わらない
だから、
2040年までには、
介護を変える
前田れいこ共著
第二弾！！

【前田れいこ 自己紹介】(岡崎市議会自民清風会所属)

岡崎市東牧内町在住。金城学院大学文学部社会学科卒業。介護現場20年。
介護ヘルパー、特別養護老人ホーム、デイサービス勤務後、ケアマネジャー資格取得後。
平成28年よりあすなるケアプラン開業。
ケアマネジャーを紡ぐ会副会長(全国のケアマネジャー3000人が会員)。
現役ケアマネジャーとして現在も介護現場で働きながら議員活動をしている。
家族は夫(会社員)、長女(24歳)、長男(21歳)、ダックスフンド2匹(ともに14歳)。



Instagramはこちら
<https://www.instagram.com/reiko.maeda1/>



ブログはこちら
<https://blog.waganse-company.com>

連絡先

住所：(前田れいこ後援会事務局)岡崎市東牧内町字堤外 91-6 電話：0564-32-7726 (あすなるケアプラン内)
お問い合わせ：自民清風会 岡崎市十王町2丁目9番地(西庁舎2階) 0564-23-6390

前田れいこ岡崎市議会市政レポート

一般質問の内容

国は、育児介護休業法により、労働者の職業生活と家庭生活の両立支援を推進していくという方針を打ち立てている。岡崎市の取り組み状況の確認と、市民に対して啓発をしていく立場の職員に対して、「仕事と育児介護の両立支援」の勉強会を実施することを提案する。

次に、市民の仕事と育児介護の両立支援のために、保育士と介護士の確保をしていくことは必須条件である。専門職である保育士、介護士確保対策にあたり、ある自治体の取り組みが参考になるので紹介をした。

先日視察をした岩手県花巻市では、「保育力充実事業」の中に、保育士確保対策メニューがあった。保育士自身の子供を保育園に預ける際の保育料が減免することで、子育て中の保育士の職場復帰を促すための取り組みである。専門職である保育士も、仕事と保育の両立に課題を抱えている。花巻市の保育士確保対策メニューのように、専門職自身の家族に対しての仕事と育児介護の両立支援から始めなければ、専門職である保育士、介護士の数の確保はできないのではないのでしょうか。

本市全体の仕事と育児介護の両立支援ができるためには、まずは専門職の仕事と育児介護の両立支援からはじめてはどうでしょうか。

具体的な質問項目

- 岡崎市における育児介護休業法の運用状況確認
- 職員が育児介護の両立方法を知るための勉強会開催提案
- 育児介護両立支援における専門職の位置付け
- 専門職（保育士、介護職）の仕事と育児介護両立支援
- 花巻市の取り組み（保育士応援事業）紹介
- 本市の保育士に対する支援状況
- 本市で活躍する産業ケアマネの紹介
- 病院職員に対する介護意識調査の紹介
- ヘルパーに対する意識調査の紹介
- ヘルパー自身の介護との両立支援に対する意向確認



議会映像

岡崎市から仕事と介護の両立支援について前向きな回答をもらいました!!
詳しくは左記 QR コードの映像を見てね。



Facebook ライブを週1回定期配信

自民清風会議員3人（野本篤議員、野々山雄一郎議員、前田麗子）でFacebook ライブ配信を実施中。市議会議員の目線から岡崎市政を語る30分番組を毎週1回放送中です。



歳末街頭演説会を開催



12月30日、岡崎市内4カ所で街頭演説会を開催しました。

私からは、岡崎市の介護認定の遅れに対しての一般質問、仕事と育児介護の両立支援に関する一般質問の話を絡めながら、介護に関する政策について話しました。

また、学校給食、矢作南北道路、高齢者福祉など、その場で出されたお題に対してアドリブでお話をしました。

通りすがりの方、車の中からあたたかい声援をいただきまして感謝申し上げます。

今後も、定期的に街頭演説会を開催していこうと思います。